

北見市における景気動向調査報告書

< 第 II 四 半 期 >

北 見 商 工 会 議 所

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成22年10月19日

(2) 調査対象期間 平成22年7月～9月期実績および平成22年10月～12月期見通しについて調査した。

2. 調査対象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

3. 回収状況

業 種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回 答 率
製 造 業	30社	22社	73.3%
建 設 業	30社	22社	73.3%
卸 売 業	30社	24社	80.0%
小 売 業	35社	23社	65.7%
サービス業	25社	19社	76.0%
合 計	150社	110社	73.3%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

Ⅱ．概 況

《 全 体 の 動 き 》

平成22年度第Ⅱ四半期<7月～9月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」16.5、「悪化企業」54.1、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△37.6となっており、前年同期比(△37.0)との比較では0.6ポイントと若干ですが悪化傾向を示しました。また、前期調査<22年度第1四半期>と比較してみると前回△27.5→今回△37.6と10.1ポイント悪化を示しています。

今回の業況を業種別で見ると、製造業D・I値4.7、建設業D・I値△68.1、卸売業D・I値△25.1、小売業D・I値△52.2、サービス業D・I値△47.3となっており、前年同期調査と比較すると建設業で44.1、小売業で24.9ポイントの大幅な悪化が見られました。一方、製造業で54.7ポイント改善し、D・I値もマイナスからプラスに転じる大幅な好転を見せたのを始め、サービス業で17.3、卸売業で4.0ポイントの回復となっており、業種により明暗の分かれる結果となりました。

また、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」10.0%「悪化企業」53.6%でD・I値△43.6と、前年同期見通し(△38.6)に比べ5.0ポイント悪化しており、今後も先行きの不安な厳しい来期見通しとなっております。

《 業 種 別 の 動 き 》

1) 製 造 業

生 産 高

前年比で「増加企業」31.8%、「減少企業」31.8%、D・I値0と前年同期に比べ65.0ポイントの大幅な好転を示しています。なお、前期調査との比較でも22.7ポイント改善の結果となりました。

採 算

前年比で「好転企業」27.2%、「悪化企業」36.4%、D・I値△9.2と前年同期に比べ20.8ポイントの好転、前期調査との比較でも27.2ポイントの好転を示しています。

来期見通し

業況D・I値△13.7、生産高D・I値△22.7、資金繰りD・I値△13.6と、前年同期に比べ全てのD・I値で好転傾向を示し、特に業況D・I値では36.3改善と高い数値を示しております。

2) 建 設 業

完 成 工 事 高

前年比で「増加企業」0%、「減少企業」81.8%、D・I値△81.8と、前年同期に比べ57.8ポイントの大幅な悪化傾向を示し、前年同期調査時の大幅な回復から一転、非常に厳しい結果となりました。

採 算

前年比で「好転企業」0%、「悪化企業」81.8%、D・I値△81.8と、前年同期に比べて33.8ポイントの大幅な悪化傾向を示しています。

来期見通し

業況D・I値△63.7、完成工事高D・I値△63.7、資金繰りD・I値△54.6と前年同期と比べ全て悪化傾向を示しており、厳しい来期見通しとなっております。

3) 卸 売 業

売 上 高

前年比で「増加企業」25.0%、「減少企業」58.3%、D・I値△33.3と、前年同期と比べ8.3ポイントの好転傾向を示し、改善の動きが見られました。

採 算 前年比で「好転企業」12.5%、「悪化企業」41.7%、
D・I値△29.2と前年同期に比べ12.5ポイントの好転
傾向を示しています。

来期見通し 業況D・I値△41.7、売上高D・I値△50.1、資金
繰りD・I値△4.2と前年同期に比べ、資金繰りは回復傾向
にあるものの、売上高で21.0、業況で12.5ポイントの
悪化を示しています。

4) 小 売 業

売 上 高 前年比で「増加企業」13.1%「減少企業」56.5%、
D・I値△43.4と前年同期に比べ17.3ポイントと大幅
な悪化傾向を示しています。

採 算 前年比で「好転企業」17.4%「悪化企業」56.5%、
D・I値△39.1と前年同期に比べ13.0ポイントの悪化
を示しています。

来期見通し 業況D・I値△43.5、売上高D・I値△43.4、資金
繰りD・I値△39.2と前年同期と比べ、全てのD・I値が
悪化傾向を示しており、特に業況・売上高D・I値が共に34.
7ポイントマイナスと、大変厳しい来期見通しとなっています。

5) サービス業

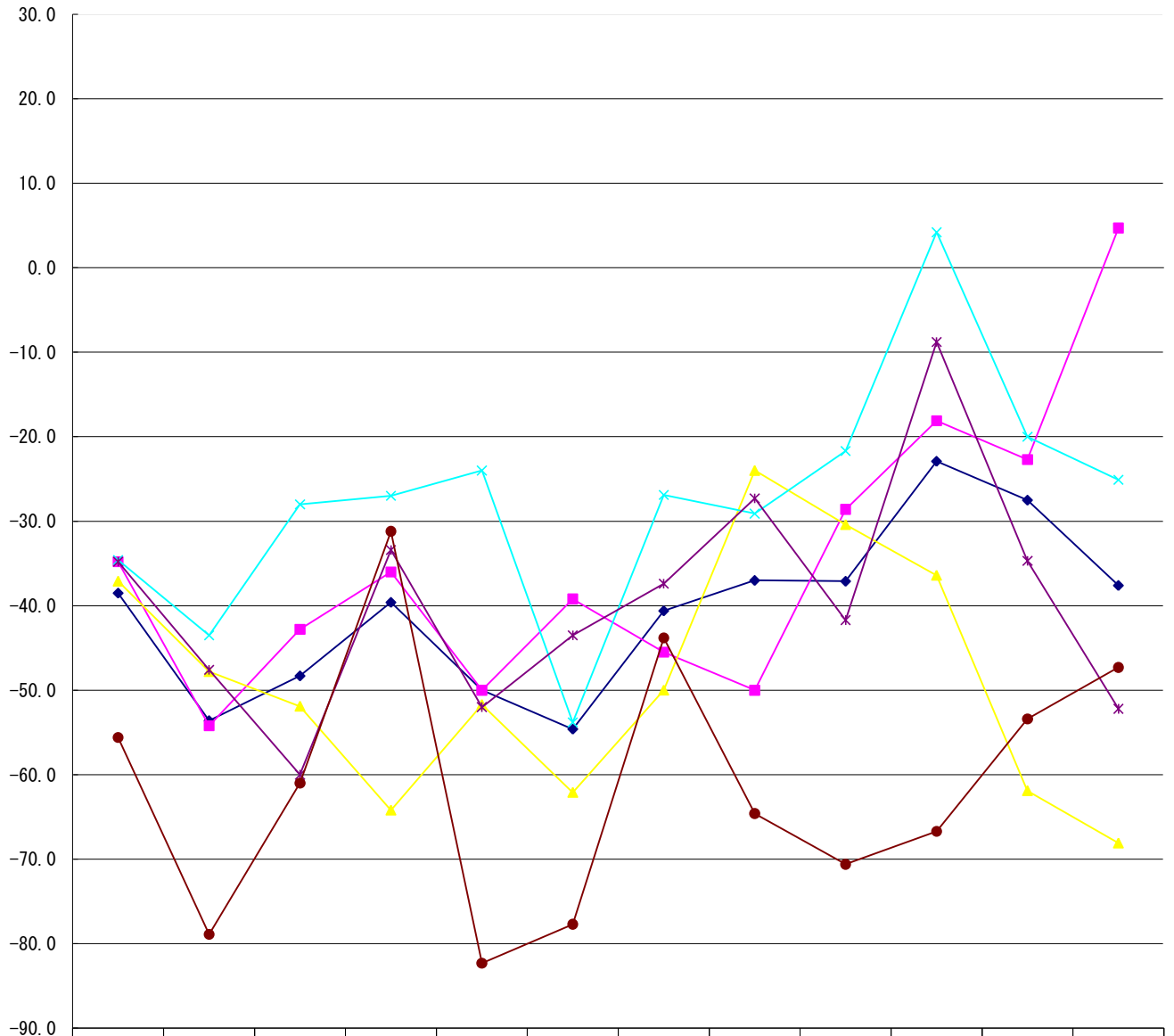
売 上 高 前年比で「増加企業」21.1%、「減少企業」63.1%、
D・I値△42.0と、前年同期に比べ22.6ポイントの大
幅な好転傾向を示していますが、マイナス値は未だ高い状況
となっています。

採 算 前年比で「好転企業」16.7%、「悪化企業」61.1%、
D・I値△44.4と前年同期に比べ20.2ポイントの大幅
な好転傾向を示していますが、売上高同様マイナス値は依然高
いものとなっています。

来期見通し 業況D・I値△57.8、売上高D・I値△47.3、資金
繰りD・I値△42.1と前年同期に比べ全てが好転傾向を示
していますが、マイナス値は高く予断を許さない来期見通しと
なっています。

業況（前年同期比）

◆ 全業種
 ■ 製造業
 ▲ 建設業
 × 卸売業
 ✱ 小売業
 ● サービス業



	19.10~12 19年度Ⅲ	20.1~3 19年度Ⅳ	20.4~6 20年度Ⅰ	20.7~9 20年度Ⅱ	20.10~12 20年度Ⅲ	21.1~3 20年度Ⅳ	21.4~6 21年度Ⅰ	21.7~9 21年度Ⅱ	21.10~12 21年度Ⅲ	22.1~3 21年度Ⅳ	22.4~6 22年度Ⅰ	22.7~9 22年度Ⅱ
◆ 全業種	-38.5	-53.6	-48.3	-39.6	-50.0	-54.6	-40.6	-37.0	-37.1	-22.9	-27.5	-37.6
■ 製造業	-34.8	-54.2	-42.8	-36.0	-50.0	-39.2	-45.5	-50.0	-28.6	-18.1	-22.7	4.7
▲ 建設業	-37.1	-47.8	-51.9	-64.2	-51.7	-62.1	-50.0	-24.0	-30.4	-36.4	-61.9	-68.1
×	-34.6	-43.5	-28.0	-27.0	-24.0	-53.8	-26.9	-29.1	-21.7	4.2	-20.0	-25.1
✱ 小売業	-34.8	-47.6	-60.0	-33.4	-52.0	-43.5	-37.4	-27.3	-41.7	-8.8	-34.7	-52.2
● サービス業	-55.6	-78.9	-61.0	-31.2	-82.3	-77.7	-43.8	-64.6	-70.6	-66.7	-53.4	-47.3

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	同業者間の競合	人 件 費 増	人 材 不 足
建 設 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 材 不 足	売掛金回収難
卸 売 業	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 件 費 増	人 材 不 足
小 売 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 材 不 足	売掛金回収難
サービス業	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	同業者間の競合	人 材 不 足	人 件 費 増
合 計	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。

○前年同期比

前年同期と比較すると「諸経費増」が増加傾向にあり、製造業・サービス業では1位となった。一方で全体合計では1～3位の順位は変わらず、「得意先減少」を問題点として挙げる事業所が最も多く見られた。

また、前期調査との比較では合計における順位の変動はなかったものの、従来回答の多かった「得意先減少」「同業者間の競合」に加え、「諸経費増」の数値が増加してきたことから1～3位の数値は僅差となっている。

※その他及び具体的な業界の問題点の記載事項

(製造) ○新入社員教育資金の捻出 (建設用金属製品)

(建設) ○完成工事高の減少 (土木建築)

○公共事業の減少 (土木)

○建築設備投資が減少し、全く先が見えなく不安 (板金)

(卸売) ○物件の絶対的不足 (鉄鋼)

○市場の縮小の伴う同業者間の価格競争とそれに伴う利益率の低下 (肥料)

○競合により、仕入原価上昇分を販売価格に転嫁できない (肥料)

(小売) ○農業所得の減少による売上悪化 (農業機械)

業 況

- 製造業 ⇒ 好転 (建設用金属製品、農業機械金属用製品、一般機械、農業用機械)
悪化 (重複該当なし、印刷)
- 建設業 ⇒ 好転 (なし)
悪化 (建築、土木建築、管土木、建設土木、土木、電気、塗装、板金、冷暖房)
- 卸売業 ⇒ 好転 (重複該当なし、家電、自動車部品、人形・駄菓子・一般玩具)
悪化 (重複該当なし、米穀、呉服、塗料)
- 小売業 ⇒ 好転 (重複該当なし、自動車、家具)
悪化 (衣料品、和洋菓子、農業機械、書籍、画材)
- サービス業 ⇒ 好転 (重複該当なし、ホテル (宴会)、IT)
悪化 (ホテル (宿泊)、飲食、クリーニング、建物清掃、理容、理美容、
自動車賃貸、清掃用品賃貸)